

## 地域包括ケアシステムにおける医療・介護連携について

### 1 経緯

団塊の世代が75歳以上となる平成37年(2025年)に向けて、「医療」や「介護」、「住まい」等を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築が進められている。

特に、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援は、平成27年10月より、介護保険法における地域支援事業の包括支援事業において、在宅医療・介護連携推進事業として位置づけられ、全国的に取り組むこととなった。さらに、平成29年6月には、地域包括ケアシステムの深化・推進の観点から、「医療と介護の連携の推進」が介護保険法に盛り込まれた。

これを受け、本区においても、地域包括ケアシステムにおける重点的取組事項として、「在宅医療・介護連携の推進」を、高齢者・介護保険事業計画及び保健医療計画に反映しているところである。今後も、本区計画等に基づいて、高齢者等が必要な「医療」と「介護」を継続的・一体的に受けられるよう、更なる連携に取り組む必要がある。

### 2 これまでの取組

#### (1) 在宅医療・介護連携推進事業の事業項目

介護保険法上に位置づけられた在宅医療・介護連携推進事業の各事業項目については、地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会(兼地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会)での検討を踏まえ、別紙1のとおり、様々な具体的な取組を行った。

#### (2) 検討経過

- ① 平成22年3月より、地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会を設置した。
- ② 平成27年10月、地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会を設置し、地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会と一体の運営を図った。
- ③ 在宅医療・介護連携推進事業について、以下のとおり検討を行った。
  - 平成29年1月 第5回地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会  
・在宅医療・介護連携推進事業について
  - 平成29年8月 第6回地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会  
・豊島区におけるICTを用いた多職種連携について  
・「退院支援ガイドブック(仮)」の進捗状況について  
・平成28年度「高齢者等実態調査」及び「健康に関するニーズ調査」結果について

平成30年3月 第7回地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会

- ・「知って安心 退院までの準備ガイドブック」について
- ・平成30年度からのICT活用について

### 3 今後の目標等

#### (1) 今後の目標

地域で医療と介護両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して続けられるようにするため、医療関係者と介護サービス事業者などの関係者と連携の強化や在宅医療・介護連携推進事業の充実に向けた取組を進めていく。

#### (2) 今後の取組事項とその方向性

- ① 多職種間で顔の見える関係づくりが一層必要となるため、研修や交流会を充実させることで、連携の強化を図る。
- ② 地区医師会が導入しているICTが、多職種間で活用されるよう医療・介護関係者間での情報共有に努め、必要な支援を行う。
- ③ 療養支援等に関して区民等に的確な情報提供を行い、在宅医療への理解を深める。

#### 【添付資料】

- 別紙1…文京区における在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況について
- 2…在宅療養後方支援病院協定先一覧
- 3…メディカルケアステーション情報支援ツール
- 4…文京区かかりつけ医・在宅療養相談窓口

在宅医療・介護連携推進事業 (8項目)	現状の取組状況	取組概要等
<p><b>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握</b></p> <p>地域の医療機関、介護事業所等の住所、機能等を把握し、リスト又はマップを作成、活用する。</p>	<p>① 文京かかりつけマップ【健康推進課】</p> <p>② ハートページ【介護保険課】</p> <p>③ 介護事業者情報検索システム【介護保険課】</p>	<p>① 文京かかりつけマップ（地域医療連携情報誌） 区内三師会との連携・協力により、作成・発行。区内の医院、歯科医院、薬局を掲載。かかりつけ医・歯科医・薬局の定着、地域医療連携ネットワーク作りに活用している。（毎年更新）</p> <p>② ハートページ（介護事業者ガイドブック） 利用者の事業所選択の利便性を図るため、民間業者が作成するガイドブックの発行に協力している。（毎年更新）</p> <p>③ 介護事業者情報検索システム 利用者の事業所選択の利便性及び事業者間の情報共有を図るため、平成 27 年 6 月から、介護サービス事業所の空き情報等の検索システムを運用している。</p>
<p><b>(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</b></p> <p>地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、対応策等の検討を行う。</p>	<p>① 文京区地域医療連携推進協議会在宅医療検討部会、兼文京区地域包括ケア推進委員会医療介護連携専門部会【健康推進課】【高齢福祉課】</p> <p>② 地域ケア会議【高齢福祉課】</p>	<p>① 在宅医療検討部会、兼医療介護連携専門部会 医療介護総合確保推進法で医療・介護連携推進の取組等が求められたことから、平成 27 年度より委員構成を同一にし、両部会を兼ねた会議体とした。</p> <p>② 地域ケア会議 高齢者あんしん相談センターでは、包括的・継続的ケアマネジメント支援の効果的な実施のため、平成 26 年度から、介護支援専門員、保健医療や福祉の専門職、地域の関係者等により構成する会議を実施し、個別ケースや地域の課題について検討を行っている。</p>

<p><b>(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進</b></p> <p>地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組を行う。</p>	<p>① 在宅療養後方支援病院との協定【健康推進課】</p> <p>② 地域密着型サービス事業 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護/小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護) 【介護保険課】</p>	<p>① 在宅療養後方支援病院との協定 平成 24 年度より、区内及び近隣区(新宿区、豊島区、千代田区)の病院と順次、協定を締結している。現在、4 病院 (JCHO 東京新宿メディカルセンター、東都文京病院、都立大塚病院、三楽病院)。</p> <p><b>協定内容</b> 区内に居住する在宅療養者について、容態が悪化または急変し、一時的な入院加療が必要となった場合に、主治医からの要請に基づき、可能なかぎり一時入院の受け入れを行う。</p> <p>② 地域密着型サービス事業 住み慣れた地域に必要な医療と介護が継続的・一体的に受けられるように民間事業者による整備を促進していく。</p>
<p><b>(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援</b></p> <p>情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。</p>	<p>文京区医師会、小石川医師会主導による ICT を活用した取組に協力【健康推進課】</p>	<p>平成 27 年度より、地区医師会が ICT を用いた多職種ネットワーク構築事業を開始しているため、検討会議に参加するなどの協力を行っている。</p>
<p><b>(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援</b></p> <p>在宅医療・介護連携を支援する相談窓口を設置し、地域の医療・介護関係者や高齢者あんしん相談センターからの、在宅医療・介護サービスに関する事項の相談受付を行う。</p>	<p>① 在宅療養支援連携相談窓口事業【健康推進課】</p> <p>② 医療連携相談窓口事業【高齢福祉課】</p>	<p>① かかりつけ医・在宅療養相談窓口事業 (地区医師会へ委託) 平成 28 年 4 月開設。区内外の医療・介護関係者や区民からの医療及び介護連携等に関する専門相談を受け付け、また区及び区内介護関係者との連携調整・情報共有を図る。運営に当たり、高齢者あんしん相談センター長をメンバーに含む会議体を設置している。</p> <p>② 在宅療養支援窓口事業 (高齢者あんしん相談センターへ委託) 高齢者あんしん相談センターでは、平成 23～25 年度に医療連携の基盤づくりとして実施した医療連携推進員配置事業に引き続き、平成 26 年度から在宅療養支援窓口事業を実施し、退院高齢者の在宅における介護環境の調整や介護支援専門員に対する情報提供等を行っている。</p>

<p><b>(カ) 医療・介護関係者の研修</b></p> <p>地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。また、必要に応じて、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催等の研修を行う。</p>	<p>① ケアマネジメント従事者研修【高齢福祉課】</p> <p>② 各高齢者あんしん相談センターでの取組み、自主グループの活動【高齢福祉課】</p> <p>③ かかりつけ医・在宅療養相談窓口（在宅診療推進委員会等）での研修【健康推進課】</p> <p>④ 居宅介護支援事業者・訪問介護事業者・通所事業者部会での研修【介護保険課】</p>	<p>① ケアマネジメント従事者研修        高齢者あんしん相談センターでは、包括的・継続的ケアマネジメント支援のため、合同でケアマネジメント従事者研修を実施しており、講演及びグループディスカッションを行った。        平成 28 年度 「在宅での糖尿病管理～自己管理の難しい方への支援～」        平成 29 年度 「ケアマネージャーの質問力～その人らしいプラン作成のためにアセスメント力を高めよう～」</p> <p>② 各高齢者あんしん相談センターでの取組み、自主グループの活動        高齢者あんしん相談センターでは、地域の医療・介護関係者を対象に、専門職や学識経験者の講演を含む交流会や勉強会を実施し、多職種の顔の見える関係づくりを行っている。</p> <p>③ かかりつけ医・在宅療養相談窓口（在宅診療推進委員会等）での研修        ケアマネージャーを対象に、かかりつけ医との連携についての研修等を予定。</p> <p>④ 居宅介護支援事業者・訪問介護事業者・通所事業者の各部会での研修        平成 29 年度は、「実地指導のポイント」「多職種協働とケアマネージャーの役割」「介護事故トラブル対処法」等の研修会を実施した。</p>
--	---	---

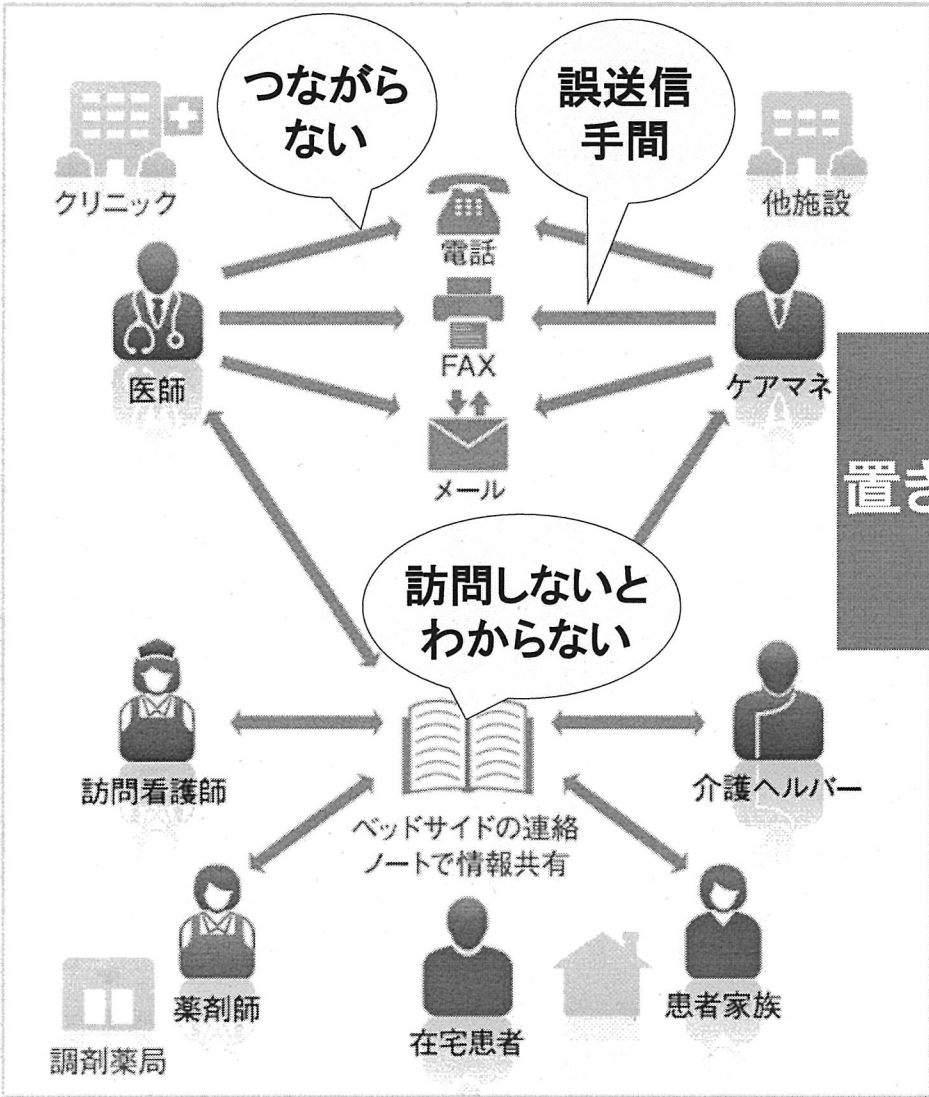
<p><b>(キ) 地域住民への普及啓発</b></p> <p>在宅医療や介護サービスに関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。</p>	<p>① 地域医療講演会【健康推進課】</p> <p>② 退院支援ガイドブック【健康推進課】</p> <p>③ 区民講座・出張講座【高齢福祉課】</p> <p>④ 文京お届け講座【アカデミー推進課】</p>	<p>① 地域医療講演会 在宅医療や看取り、病院と診療所の違いなどをテーマに、地域住民向けに年1回開催している。 平成27年度「がんになっても自分らしく生き続けるために」 平成28年度「在宅訪問医が伝える『わが家で暮らしたい』を支える医療と介護」 平成29年度「かかりつけ薬剤師をみつけておきましょう」</p> <p>② 退院支援ガイドブック 区内大学病院及び都立病院に入院した区民に、医療・介護・障害福祉制度の概要や相談窓口を掲載した冊子を配付している。</p> <p>③ 区民講座・出張講座 高齢者あんしん相談センターでは、地域交流施設での出張講座等、区民を対象とする講座を適時開催し、医療・介護連携に対する地域住民の理解の促進を図っている。 平成27年度「食べる喜びをいつまでも」「病気と付合う 脳卒中」 平成28年度「胃&amp;腸と上手に付き合う」「誤嚥や窒息との寄り添い方とは」 平成29年度「骨粗鬆症の話」「口腔ケアと認知症予防」等</p> <p>④ 文京お届け講座 区民の方を中心とする団体等の学習会に区の職員等が出向き、区の取り組みや職務に関する専門知識を生かした実習等を行うため講師を派遣。講座メニューとして、介護保険制度についてなどがある。</p>
<p><b>(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</b></p> <p>複数の関係市区町村が連携して、広域連携が必要な事項について協議する。</p>	<p>① 東京都が主催する東京都地域医療構想調整会議（区中央部）への参加（東京都主催）【健康推進課】</p> <p>② 東京都が主催する在宅療養の推進に向けた二次保健医療圏における意見交換会（区中央部）への参加【健康推進課】</p>	<p>① 東京都地域医療構想調整会議 医療法第30条の14に基づき「東京都地域医療構想」の実現に向けた取組について協議するため、構想区域ごとに設置。文京区は、千代田区・中央区・港区・台東区とともに区中央部に位置づけられている。</p> <p>② 在宅療養の推進に向けた二次保健医療圏における意見交換会 東京都が地域医療構想の策定のために、圏域ごとの意見聴取を実施するにあたり、在宅療養の進捗状況と課題を明確にするため、区市町村に対しヒアリングを行うとともに、在宅療養の推進に向けた取組状況について意見交換を行なった。（圏域に位置づけられている自治体は、上記の構想区域と同様である。）</p>

## 在宅療養後方支援病院協定先一覧

病院名	独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO東京新宿 メディカルセンター	医療法人社団 大坪会 東都文京病院	東京都立 大塚病院	公益社団法人東京都教職員互助会 三楽病院
連絡先	地域連携・総合相談センター <a href="tel:03-3269-8115">TEL:03-3269-8115(直通)</a> FAX:03-5261-4738	地域医療連携・福祉相談室 <a href="tel:03-3831-2181">TEL:03-3831-2181(代表)</a> FAX:03-3832-6920(直通)	医療連携係 <a href="tel:03-3941-3211">TEL:03-3941-3211(内2138)</a> FAX:03-3941-6347	地域医療連携室 <a href="tel:03-3292-3981">TEL:03-3292-3981(代表)</a> FAX:03-3518-2158(直通)
連絡方法	事前に電話で <b>地域連携・総合相談センター</b> へ申し込み。 申込後、診療情報提供書 「JCHO東京新宿メディカルセンター」をFAX	事前に電話で <b>地域医療連携・福祉相談室</b> へ申し込み。 申込後、診療情報提供書 「東都文京病院」をFAX	事前に電話で <b>医療連携係</b> へ申し込み。 申込後、診療情報提供書 「東京都立大塚病院」をFAX	事前に電話で <b>地域医療連携室</b> へ申し込み。 申込後、診療情報提供書 「三楽病院」をFAX
所在地	〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1	〒113-0034 東京都文京区湯島3-5-7	〒170-8476 東京都豊島区南大塚2-8-1	〒101-8326 東京都千代田区神田駿河台2-5

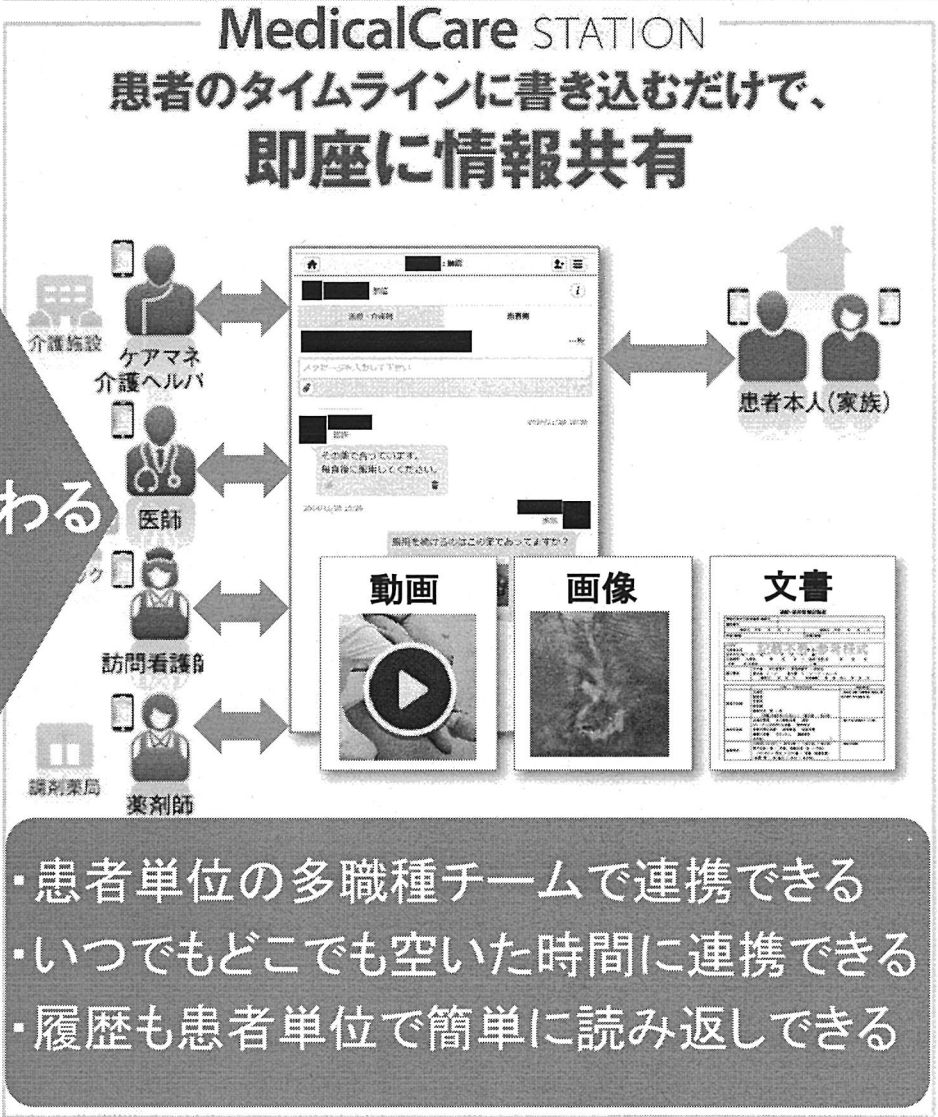
# MCSで、電話・FAX・メールが減ります

## Before



置き換わる

## After





# 患者ごとに、画像や動画付きで連携できる

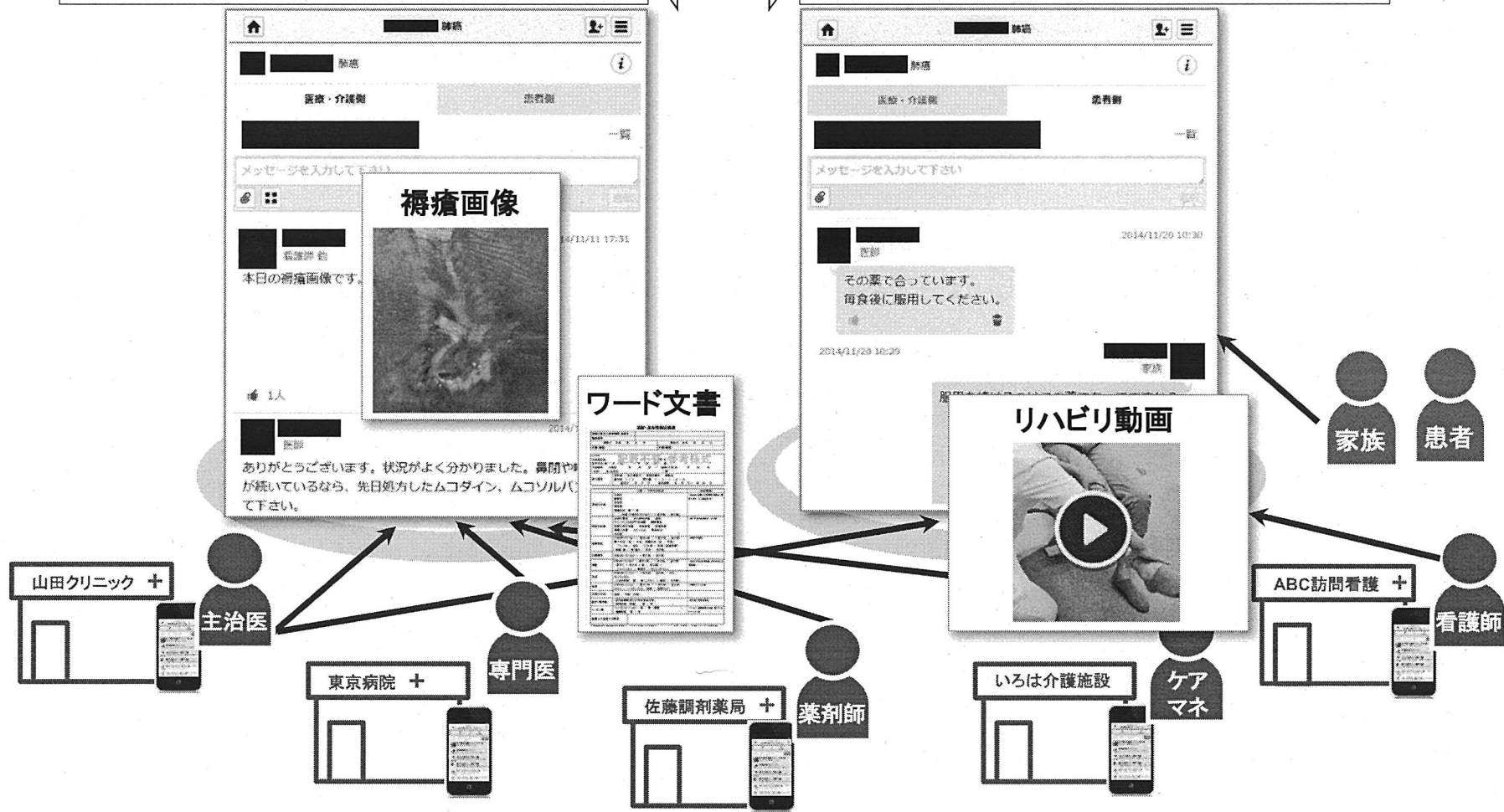
## 患者単位のグループ

MedicalCare STATION

医療介護スタッフ専用タイムライン

切替え

患者家族も参加するタイムライン



文京区

# かかりつけ医・在宅療養相談窓口

## ☎ 03-6912-0810

## FAX 03-3947-0916

どなたでもお気軽に  
ご相談ください!!

こんな時にご相談ください

病院に入院しているが  
自宅に戻りたい

介護や医療サービスに  
ついて知りたい

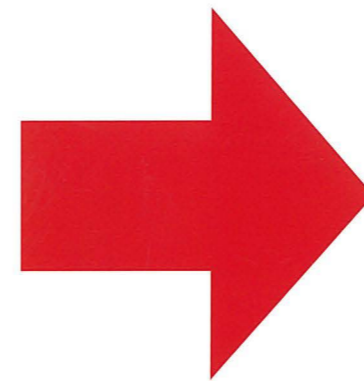
訪問してくれる  
かかりつけ医を探している

訪問診療について知りたい



地域のサービスを知りたい

その他医療介護  
のことなんでも



ケアマネージャーの  
資格を有する  
**看護師**

**支援の相談・助言**

文京区小石川5-6-9

小石川医師会内

受付時間 9:00~17:00(月~金)

文京区在宅療養支援連携相談窓口事業